

オルタンシアの風

2012年6・7月号/VOL19

爽やかな季節も過ぎて、梅雨の時期になってきました。路地ではアジサイが色づき始めています！







今月のオススメ！ ～バラ～

今月のオススメは、たくさんの人に愛されている**バラ**です！今回は拡大版です！





花の女王とでもいうべきバラ。バラの栽培の歴史は長く、約7,000年前のエジプトの棺の中からバラの花環が発見されたこともあるくらいです。長い交配の歴史の中で一番の功労者は、ナポレオンの皇后ジョセフィーヌでしょう。19世紀初めに、パリ郊外の宮殿に世界中のバラを集めました。その数約3万種にのぼるといわれ、世界で初めてバラの人口交雑も行われたのです。

そして、1867年には現代のバラの祖である大輪の『ハイブリット・ティー・ローズ』の第一号がフランスで発表されました。名前は『ラフランス』。以来、バラ栽培の主流となっていきます。ハイブリット・ティー・ローズ以前のバラは、野生種も含めすべてオールドローズと呼ばれています。

●バラの咲き方を紹介します！

	☆ 高芯咲き ・・・半八重（6～19枚）～八重咲き（花びら20枚以上）で、花の中心が高いモダンローズらしい花形。（バラの名前はロジータベンテラ。）
	☆ カップ咲き ・・・オールドローズ、イングリッシュローズに多いカップ状の花形。最近のモダンローズでもこの花形が人気を呼んでいます。（バラの名前はヘリテージ。）
	☆ ロゼット咲き ・・・大小の花びらが複雑に重なる花形。咲き始めはモダンローズらしい花形でも、開ききるとクラシカルになるものもあります。（バラの名前はラナンキュラ。）
	☆ ポンポン咲き ・・・花びらがとても細かく、花形が球形から半球形に咲きます。（バラの名前はモッコウバラ。）
	☆ クォーター咲き ・・・よく開くと中心の花びらが4つくらいに分かれる花形。（バラの名前はピンクエウドラ。）
	☆ 平咲き ・・・一重から八重咲きまであり、開ききると文字通り花びらが平らに揃う花形。（バラの名前はウェディングドレス。）

●バラの花弁の種類です。

○ 剣弁 ・・・最もモダンローズらしい花びらの形。花びらの端が裏側にカールして剣のような形に尖り、シャープな印象です。（バラの名前はレッドスター。）	
○ 半剣弁 ・・・花びらの端のカールが剣弁よりもゆるく、穏やかな印象です。同じくモダンローズらしい花形。（バラの名前はハロウィン。）	
○ 丸弁 ・・・剣弁のように花びらはカールせず、丸みのある花びらは優しい印象。（バラの名前はうらら。）	
○ 波状弁 ・・・花びらの端や花びら全体にひらひらとウェーブがかかります。（バラの名前はスパニッシュダンサー。）	

花形と花弁を合わせて、『剣弁高芯咲き』や『丸弁カップ咲き』のように呼びます。

今回はここまでです・・・。まだまだたくさんご紹介したいので、次の機会に続きます！